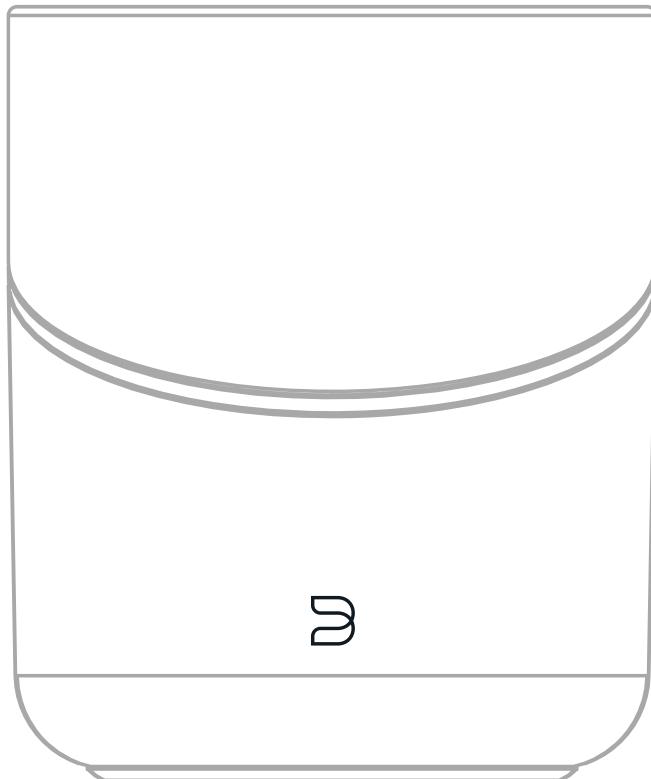


SLUESOUND

PULSE M

ワイヤレス・ストリーミング・スピーカー



取扱説明書

v.P230

#LIVINGHIFIへようこそ

PULSE M は、ハイレゾ音楽を日常的に楽しめるワイヤレスストリーミングスピーカーです。単体のミュージックプレーヤーとして空間全体に音を満たすことができるほか、他の Bluesoundプレーヤーと連携させることで、マルチルームリスニング環境を構築することも可能です。本製品を最大限に活用するためにはご家庭のネットワークに有線またはワイヤレスで接続する必要があります。

境界のないリスニング。360度全方位から音楽を楽しめます。PULSE Mは、新しいOmni-Hybrid™デザインを採用したワイヤレス・マルチルーム・ストリーミングスピーカーです。上向きの全方向性ウーファーと45度オフセットで配置された2つのツイーター、そしてDSP対応の80ワット・スマートアンプがこれらを連携させ、ほぼあらゆるリスニング角度で豊かで部屋を満たすサウンドを生み出します。

圧倒的なサウンドとデザイン。PULSE Mは、独自のOmni-Hybrid™システムを楕円形のキャビネットに搭載し、家の隅々までフィットする省スペース設計となっています。オプションのWM230ウォールマウントアクセサリーまたはFS230フロアスタンドを組み合わせれば、設置場所の自由度が広がります。音響的に透明なファブリックグリルと、ブラックまたはホワイトの仕上げオプションが組み合わせられ、サウンドとデザインの両方において、まさにセンセーショナルなスピーカーです。

1台でも複数台でも。卓越したエンジニアリングにより、PULSE Mはステレオペアリングも可能で、軸外のリスニング角度でも超ワイドなサウンドステージを備えた真の2チャンネルリスニング体験を実現します。テレビ視聴者、映画ファン、ゲーマーは、PULSE MをBluesoundホームシアターグループのリアラウンドとして使用することで、真に没入感のある体験を創り出すことができます。PULSE Mは、Bluesoundエコシステム内の他のプレーヤーと連携して、1台または複数の部屋に同時にハイレゾのマルチルームオーディオを届けます。

この取扱説明書では、PULSE Mとその機能についてより詳細な概要を説明しています。また、ネットワーク設定のベストプラクティスも紹介しています。PULSE Mのクイックセットアップガイドは、ネットワークに接続して音楽を再生する準備を整えるのに役立ちます。

ご注意: ミュージックサービスからのストリーミングやプレーヤーのアップデートにはインターネット接続が必要です。インターネットに接続できない場合、PULSE Mのすべての機能をご利用いただけません。

付属品



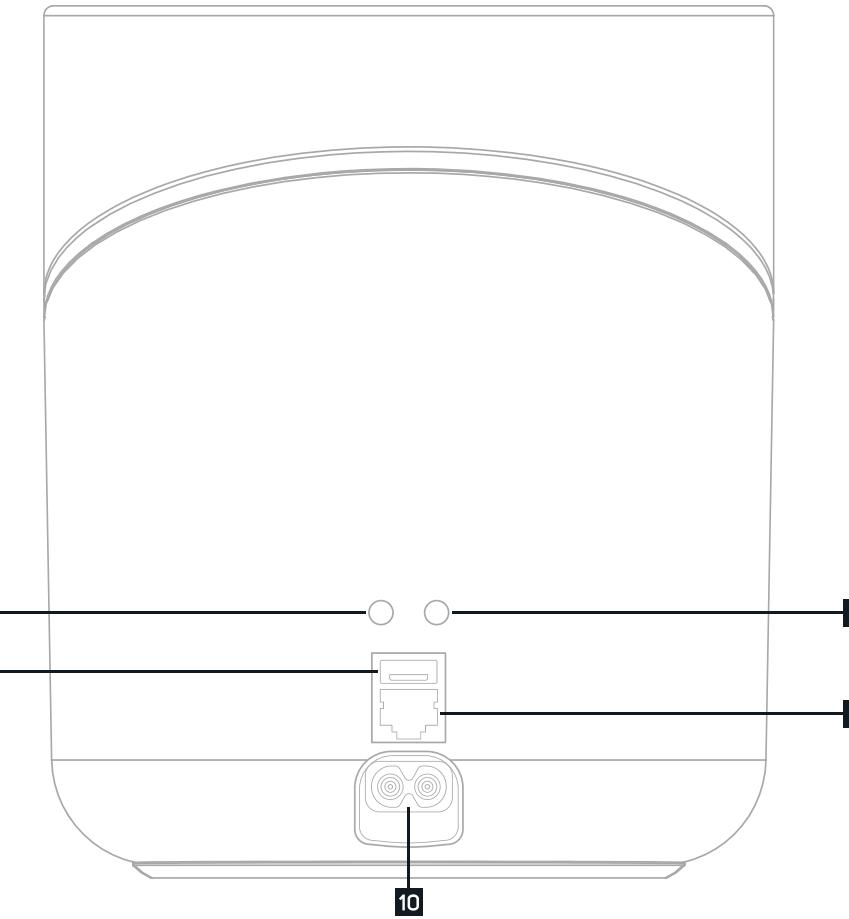
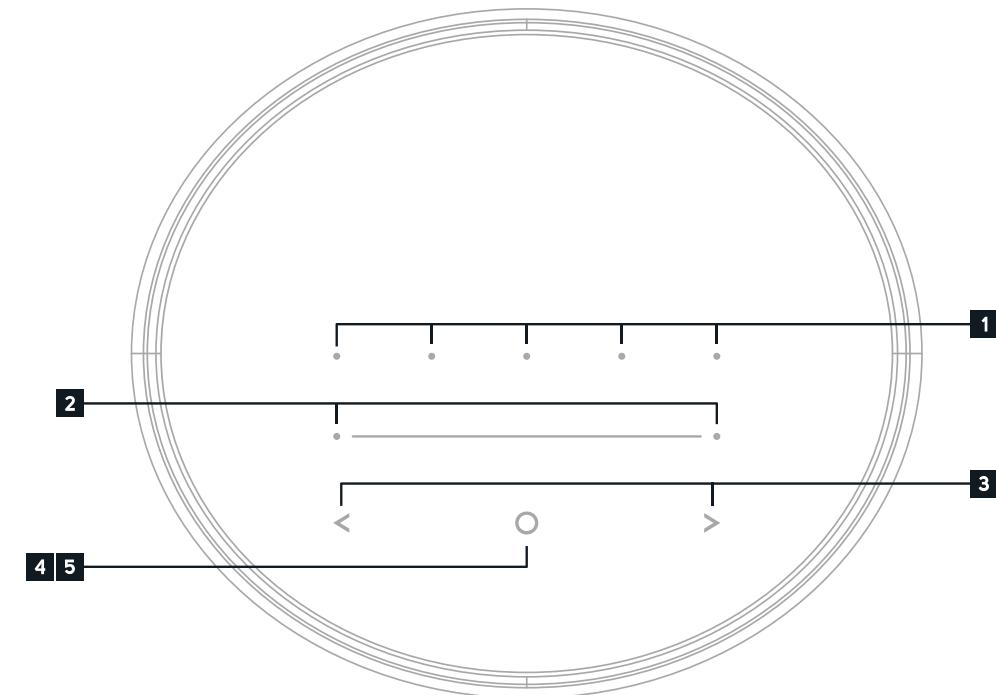
AC パワーコード



イーサネットケーブル



トスリンク-ミニプラグ
アダプター



1 プリセット PULSE Mには5つのプログラム可能なプリセットボタンがあります。これらのプリセットは、BluOSアプリのプリセットメニューを使用して設定します。

2 ボリュームスライダー/タップ LEDスライダーを使って音量を調整します。スライダーの両端にあるボタンをタップすると、1dB単位で音量を調整できます。また、調整したい方向にスライダーをタップすると、3dB単位で音量を調整できます。これらの音量タップ操作で、音量を微調整できます。

3 スキップ これらのボタンは、現在の再生キューの中で、前の曲に戻ったり、次の曲にスキップしたりすることができます。

4 ステータスインジケーター 以下は、LED の点滅コードとその説明です。

LED点滅コード	状態説明
短い青の点滅、その後赤点灯	電源投入、本体の再起動
緑の点灯	ホットスポット・モード
緑の点滅	ネットワークへの接続試行中
白の点滅	利用可能なソフトウェア・アップデートがあります
赤の点灯	アップグレード・モード
赤と緑が交互に点滅	アップグレード中
青の点滅	ミュート・モード
白点灯	インデックス作成中
青色点灯	ネットワークに接続済み - BluOS アプリの使用が可能
赤の点滅	ファクトリーリセット処理中
紫の点灯	ホットスポット・モードがタイムアウト

5 再生/一時停止ボタン このボタンは、ネットワーク接続の視覚的インジケーターと再生/一時停止ボタンという複数の機能を持っています。LED の点滅コードについては、4 番 - 点滅コードを参照してください。グループ化されていないプレーヤーの場合、このボタンを押すとストリームの再生/一時停止ができます。インターネットラジオを聴いている場合、一時停止機能は 30 秒間働きます。この時点でバッファがいっぱいになり、ストリームが停止します。プレーヤーがグループ化されている場合、再生/一時停止ボタンを押すと、そのプレーヤーはミュートされます。他のプレーヤーがストリームを継続している間、そのプレーヤーはミュートされます。ミュート中はプレーヤーの LED が青く点滅します。また、このボタンは ファクトリーリセット機能にも使用します。後述のファクトリーリセットの手順をご参照ください。

6 光デジタル入力/アナログ入力(OPTICAL IN/ANALOG IN) 3.5mm ステレオオーディオケーブル(市販品)を使用して、一方の端を NODE のアナログ入力に、もう一方の端を他の互換性のあるデバイスの対応するアナログ出力に接続します。BluOS アプリには「アナログ入力」として表示されます。トスリンクから 3.5mm ミニジャックへ付属アダプターを使用して、光デジタルソースを追加することもできます。この場合、BluOS アプリでは「光入力」として表示されます。

7 ヘッドホンジャック PULSE Mの背面に 3.5mm ヘッドホンジャックがあります。ヘッドホンを接続すると、PULSE M は自動的にスピーカー出力からヘッドホン出力に切り替わり、スピーカー出力はミュートされます。

8 USB (TYPE A) USBマスストレージデバイスをUSB入力に接続します。PULSE Mと互換性のある一般的なUSBマスストレージデバイスには、ポータブルフラッシュメモリデバイスや外付けハードドライブ(FAT32フォーマット)などがあります。

9 LAN端子 PULSE MをLAN端子を使用してセットアップするには、有線イーサネット接続が必要です。付属のイーサネットケーブルを使用して、イーサネットケーブルの一方の端を有線イーサネットブロードバンドルーターのLAN端子に接続し、もう一方の端をPULSE MのLAN端子に接続します。LAN端子はオプションの接続ですが、最高のネットワークパフォーマンスを得るにはイーサネット接続を推奨します。

10 電源入力 プラグを壁のコンセントに接続する前に、電源コードのもう一方の端を PULSE M の電源入力ソケットにしっかりと差し込んでください。プラグを壁のコンセントに無理やり差し込まないでください。必ず最初に壁のコンセントからプラグを抜いてから、電源入力ソケットからケーブルを抜いてください。

セットアップ

配置

PULSE Mは、空間を音で満たすように設計されています。一般的な設置場所は、家庭のリビングエリアのカウンタートップやサイドボードです。プレーヤーから電源までの距離にご注意ください。PULSE Mには2mの電源コードが付属しています。

室内音響

PULSE Mの音響特性は、部屋の中での配置と密接に結びついています。周波数特性を重視するのであれば、スピーカーの配置でかなり有益な実験ができます。

まず、リスニングルームの広さを検討しましょう。スピーカーが動かす空気の量が多いほど、希望する音量レベルを達成するために必要な音響出力は大きくなります。狭い部屋では、音の減衰は壁の反射によって相殺される傾向があります。広い部屋では、音が反射面、そして耳に届くまでの距離が長くなるため、そもそも音量を大きくする必要があります。

リスニングルームにおいて、大きさに次いで最も重要な要素はその形状です。どの部屋でも、音は壁、天井、床に反射します。向かい合う2つの平行面間の距離が特定の周波数の波長の数分の1の場合、その周波数の音は完全な位相で往復します。これは定在波またはルームモードと呼ばれる現象です。部屋の特定の場所ではこの音が大幅に増強され、他の場所ではほぼ完全に打ち消されます。ほとんどすべての部屋は低周波の定在波の影響を受けますが、典型的なリスニングエリアに対して PULSE Mを慎重に配置することで、この影響を最小限に抑えることができます。最適な配置を見つける唯一の方法は、実際に実験してみることです。

一般的な意味では、次のことに気づくでしょう。

- ・コーナー配置：低域の出力と重低音を強化します。男性ボーカルの音域を強調することもできます。
- ・壁沿い：重低音の強化は弱くなりますが、男性ボーカルは依然として強調されます。
- ・室内：よりニュートラルな応答になり、重低音の強調が少くなります。

Mounting

PULSE Mの底面にはシンプルなマウント機構が組み込まれており、Bluesound WM230を使用して壁掛け、またはBluesound FS230を使用してスタンドマウントすることができます(各アクセサリは別売です)。PULSE Mの底面からゴム製のインサートと組み立て用ネジ/プレートを取り外してください。ご使用のマウントアクセサリに付属の組み立て手順に従ってください。

WM230 を使用して PULSE M を壁に取り付ける場合は、次の点に注意してください。

- ・PULSE Mを設置する場所に下穴の位置をマークします。穴あけ位置が電気配線や配管に接触しないよう注意してください。ケーブルを差し込むのに十分なスペースを確保してください。
- ・取り付けネジ(市販品)用の下穴を各箇所を開けておきます。
- ・WM230 ブラケットを壁などの表面に、選択した表面の材質に適した留め具を使用して固定します。留め具と工具は付属していません。

ネットワーク

PULSE Mはネットワークオーディオプレーヤーであり、正常に動作するためには適切に実装されたローカルエリアネットワークが必要です。ソフトウェアのアップデートや、クラウドベースの音楽ストリーミングなど、プレーヤーの多くの機能を使用するには、インターネットアクセスが必要です。

PULSE Mをスピーカーと電源に接続したら、ネットワークに追加する必要があります。フロントパネルのLEDが緑色に点灯し、「ホットスポット」モードでネットワーク接続の準備が整ったことを示します。プレーヤーは、有線イーサネット、またはWi-Fi経由でネットワークに追加できます。イーサネットを使用する場合は、イーサネットケーブルをPULSE MのLAN端子に接続するだけです。LEDが青色に点灯し、ネットワーク接続したことを示します。Wi-Fiを使用する場合は、スマートフォンまたはタブレットでBluOSアプリを開き、「プレーヤーを追加」ウィザードの手順に従ってください。イーサネットまたはWi-Fiのどちらで接続する場合でも、BluOSアプリ内でPULSE Mを初期化してセットアップを完了する必要があります。

ご注意！

これは、プレーヤーのファクトリーリセットです。Wi-Fi ネットワークの設定、ファイル共有、保存されたプレイリストを含む、すべてのカスタマイズは失われます。リセットが完了したら、これらを再作成する必要があります。

このプロセスは、プレーヤーが機能せず、インターネットによるファームウェアのアップグレードが失敗した場合にのみ推奨されます。ご質問やご不明な点がございましたら、お手続きの前に BLUESOUND の正規販売店までお問い合わせください。

ファクトリーリセットの手順:

1. PULSE M をコンセントから抜き電源を切ります。
2. 30 秒待ちます。
3. 電源を再接続します。
4. LEDが赤になったら、再生/一時停止ボタンを長押しします。LED はすぐに緑に変わり、その後、赤に戻ります – そのまま 30 秒間ボタンを押し続けてください。
5. 30 秒後、LED が赤に点滅し始めたら、ボタンを離してください。
6. PULSE M のカスタマイズはすべて削除され、工場出荷時の設定に戻ります。

重要 LEDが点滅し始める前にPLAY/PAUSEボタンから指を離すと、ファクトリーリセットがキャンセルされ、PULSE Mはアップグレードモードになります。工場出荷時の状態に戻すには、もう一度手順をやり直してください。

PULSE M がホットスポットモード(ワイヤレス接続の場合、LED は緑に点灯します)に戻れば、ファクトリーリセットは成功です。 プレーヤーが有線のイーサネット接続でネットワークに接続されている場合は、新しいプレーヤーと同様に接続されます(LED が青く点灯します)。

BLUESOUND®

©Bluesound International. Bluesound、スタイル化されたワードマークと「B」のロゴタイプ「HiFi for a wireless generation」というフレーズ、NODE、その他すべてのBluesound 製品の名称とタグラインは、Lenbrook Industries Limited の一部門である Bluesound International の商標または登録商標です。 他のすべてのロゴやサービスは、それぞれの所有者の商標またはサービスマークです。